

文化祭がおわって

2009.10.01

文化祭もやっとひと段落。でも本当に終わってしまったら、なんだかガクッときてしまいました。みんなとひとつになって、毎日遅くまでがんばった日々、それがあっけなくなってしまう。来てすぐに、文化祭の準備がちょうど始まり、私は本当にラッキーでした。おかげで文化祭を満喫できたんですから。ずっとああでもないこうでもないとおバケ屋敷のアイデアを話し合い、やっと意見がまとまったと思ったら、またすぐ別の意見が出てきて、またはじめから作り直し。毎日そんな感じで、だんだんみんなも不機嫌に。遅くまで作業をしていてもなんだかみんなの土気も下がり気味でした。ところがある日の国語の授業で、クラスの文化祭実行委員がみんなに思っていることを書き出させ、それをみんなの前で読み上げました。キツイ意見に涙ぐむ女の子もいましたが、このおかげでみんなまたがんばろうという気持ちが盛り上がってきました。本番に向かって、1週間で準備は完了。最後はチームワークの手際よさを発揮できました。来場者はみんな「やばくない？超うまいじゃん。」とべた褒め。終わってからたくさんの人に「レベル高い」、「めっちゃ怖い」といってもらえました。みんなに怖がってもらえて、苦労が報われました。またこんな文化祭、やってみたいなあ！

次はあなたかも？

2009.10.11

10月の最初の月曜日、全校生徒が体育館に集合する。これはH.R。市外と同じように校長先生がお話をする。でも国旗の掲揚はないし、校歌も歌わない。友達に聞くと、日本では月曜日の国旗掲揚の習慣はないんだそう。これもまたカルチャーショックだった。私が注目したのは校長先生の話の内容。席を譲ることについての話だった。お年寄りや子供、病气、身体障害者の方達に席を譲るのはもはや常識になっているけれども、それでもまだそれが出来ない人がいる、と。月曜日の全校集会で、校長先生が深い深い誠意を込めてこういう些細な問題をピックアップする。私の印象では、今まで見てきた校長達は、全校集会の席では一般的に大きな問題について言及する、もしくは祝日のお祝いの詞だったり。だから、この校長先生はすごく特別だと思った。もう一つ珍しいなと思ったのは、服装チェック。クラス毎に男女に分かれて、二人の先生が一人ひとりチェックしていく。なんだか豚を選定する時のチェックに似てるよね。チェックには幾つかのポイントがあるんだ。まずは髪の毛。もし染めていたら――××。次は耳。ピアスの穴を開けていたら――××。スカート、短すぎ――××。指、ネイルをしてる――××、長すぎても――××。男子の髪型チェックは細かすぎて怖いよ。前髪は眉毛より上、襟足は襟にかかってはダメ、横が耳にかかるのもダメ。××がついた生徒はすぐに改善しないとイケない。××の生徒は先生がまたチェックしにくるからね。次に××をくろうのは、もしかしてあなたかも？でも、私はこんなに厳しくチェックする必要はないと思うんだ。髪の毛の長さや色、ピアスの穴なんかは勉強とは直接関係ないんだから。もちろん、それが学校の威厳を守ることになるんだろうけど、注意はしても、それを強制する必要はないよね。高校生にもなったら、判断能力もあるし、やるべき事、やっちゃいけない事の区別ぐらい自分でつけれるし、つけれなきゃいけない。大人が大人の視点から、提案をしたり注意をしたりするのは大歓迎。でも最終的には学生自身に決めさせた方がいい。自分の人生は自分で歩むものだから。違うかな？

私の目

2009.10.11

私のカメラは私の目。 <http://xxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxxx> これがアルバムアドレスだよ。もし好きな写真があったら、時間を惜しまず、クリックしてね。コメントもくれたら嬉しいな。続ける原動力になるからさ。

長かった一日

2010.03.25

友達4人で三連休の初めの日絶対混んでいる日にDISNEYSEAに行った。入園で並んでいたとき話し合った作戦により、私と一人の友達がタワーオブテラーのFASTPASTをとる。もう二人の友達がタートルトークのところを並ぶ。タートルトークは海底总动员のCRUSHが話すアトラクション。S.Sコロンビア号の船尾の海底展望室。紹介のお姉さんがCRUSHと話す器械の原理を解釈するとき、どんどん話すスピードをあげて最後めっちゃはやくて全然聞き取れなかった。器械の図の分かりやすいための矢印もごちゃごちゃになって、全然原理分かってなかった。そのはやさには尊敬する。はいけど一つ一つの単語がはっきりして全然かんでなかった。CRUSHほんとにしゃべれてびっくりした。こっちのはなす内容に反応できるの。ユーモアだし。CRUSHが「お前たち最高」っていったら両手を挙げおお～を言う。こともたちは大声で言ってるけど大人はやっぱりはやくして遠慮してた。DIESELのポスターを思い出した。「大人は頭で考える。僕らは心で動く。」(SMART LISTENS TO THE HEAD、STUPID LISTENS TO THE HEART) その通りだ。いつも周りを考えてるから声が出さなかったの。だから子供は疲れない、心をしたがって動いてるから。CRUSHに一日何回歯を磨くかを質問したかったけど機会がなかった。残念だった。ストームライダーはFASTPASTを取ったけど30分近くなつた。途中抜けてミートパイを買った。熱々で皮がぱりぱり、なかの肉は肉のくさみがなくておいしかった。ミスタードーナツより全然おいしかった。ストームライダーは気象飛行機に乗って、嵐を消滅させる。激しい揺れはあんまりなかったんで、ゆきにも楽しめた。途中の急に爆弾が天井にぶつかって、半分入ってくるのはすごかった。そこまでやるのはおもわなかった。でも全体的にはまあまあ普通だった。海底2万マイルは小型潜水艇で海底世界を探検する。魚とか宇宙人とか財宝とか海の下が見られる。楽しかった。アラビアンコーストのシンドバッド、ストーリーブック、ヴォヤージュは入る予定なかったけど、そこを通過して待ち時間は10分しかいらないうてみたから、はいった。はいてよかった。今日乗ったのなかジェットコースター系以外の一番好きだったアトラクション。なかにシンドバッドのものがたりの人物があって、動いているストーリーブックのかんじだった。ブックに入ったような。人物たちがダンスしたり、馬にのったりしてた。すごいなことに人物はみんな器械だけ動きかとはだとかがすごくリアルで最初ぬいぐるみに入ったスタッフだと思った。でも大きさを考えて器械だということを知った。象の耳、鼻の動きのような細かい動きまできれいにできずばらしかった。途中真っ暗になって星がいっぱいでできた。キラキラの星、すごくきれいだっただ。そんないっぱいな星は見たこともない。本当に夢が見えたような。ここでDISNEYは夢の国だということを実感した。すごく納得できた。ジェットコースター系はタワー、オブ、テラーとインディ、ジョーンズ、アドベンチャー、クリスタルスカルの魔宮とレイジングスピリッツに乗った。インディ、ジョーンズで3時間くらい並んだ。待ってた場所どこにゴミ箱があるまではっきり覚えているけど、乗ってる途中はどうなってるは全然覚えてなかった。もったいない。これを終わってもうタワーオブのFASTPASTの時間を過ぎちゃった。インディジョーンズから入り口あたりのタワーまでダッシュでいった。走った！革靴とミニスカートををはいた陸上部の二人の後ろについてシーの外側の半分を命がけ走った！坂を上り坂を下り海を越え列を超えやっとタワーのほうについた。この半年中一番走った。気持ち悪くなって息が詰まって足だるくて靴ひもが解けちゃってとりあえずきつかった。風がつよく髪の毛飛んだりしてばさばさでかっこ悪かったでしょう。たぶんめっちゃ周りの人にみられてた。でも気にしない。というかそんな余裕がなかった。みちとまきの後姿しか見てなかった。FASTPASTの時間に過ぎたけどいりぐちのお姉ちゃんが優しくてはいった。呪いのアフリカ土偶の話だった。エレベータのような気がする部屋に入った。そのエレベータが下に降りたり上がったたりして怖かったけど気持ちよかった。一番上に上がるとビル建物の大きい穴から外が見える。前はずっと真っ暗の中で自分がいるところの高さはどれくらいか分からなくてそんなに怖くなかった。で急に外が見えてこんなに高いところにいるんだと分かってて恐ろしさがきた。手を離して聞くと自分の耳が痛いくらい叫んだ。でも叫ぶほうが静くないそだ。楽しかった。規模が小さいから中度半端な感じもあつた。もっと高ければよかった。レイジングスピリッツは今回私の中のジェットコースター系のチャンピオンだった。一番前に座つたのでどこから降りるとどれくらい角度で降りるか全部見えた。落ちる準備ができるとおもつたけど、自分の中先に想像しちゃっていっそう怖かった。遠いところの光ってる駐車場の電気を見ながら落ちた。見えるから怖いのを分かって後半目をつぶして乗った。360度の回転があるってパンフレットも書いてあるけどぜんぜん感じなかった。友だちに360度の回転があつたって聞いて二人ともあつたよって言って。煙があるところまで。私ちょうど煙が入る前に目を閉じた。だから分からなかったのか。でも分かるとおもう。脊髄がいたくなり始めたこと。いすにびったりくっついてなかったので360度回転のときせきずいがちよっと折れてしまった。たぶんそだとおもう。食べ物ユカタンドッグとキャラメル味ポップコーンチキンレッグとカスタードパイとがおすすめ。どちらでも並ばなきゃならない。ユカタンドッグのソウセイジのみそだ。固めのパンの中に挟んで、そのおいしさ言葉で表せない。DISNEYSEAに行くには夜までいないもったいない。シーの夜景こそが大人向けだとおもう。あまり強すぎない光、夢の中の色のようなやさしくおだやかな感じだった。そのときのDISNEYSEAが夢の国は絶対過言ではない。夢が眠ってるところだ。もちろん夜だけではない。その夢が帰るまでつづいてた。今日は天気がよくて太陽も出でて遊びに最高の日だった。海の隣なので海の風も強かった。もう朝からさっぱりな風に触れられつづけた。海のおいしなかったけど。帰りに風がいっそう強くなってPETERPANになりそうだった。舞浜駅には武蔵野線と京葉線の二つの電車しかない。武蔵野線はよわよわしさが有名だ。風にも雪にも。一人の友だちは武蔵野線が来たの。武蔵野線はたぶん強風で止まっちゃうのでみんな心配した。だけど舞浜駅に着いて、両方の電車も強風で遅れていた。武蔵野線はまもなくきた。でも、京葉線はなかなかこなかった。50分近く待っても京葉線が来なかった。不安になってきた。ホームの人もどんどん増えてきていらいらになってきた。人がぎりぎり立てるくらいホームが混んでいた。駅員に着たり親に電話メールしたりした。バスもあるけど、たぶんそっちも混んでいるとおもって、東上線に住む私と二人の友だちが待ち続けた。隣の武蔵野線またきた。どうしようどうしようと思いながらとりあえず舞浜駅から出ると三人で決めた。とりあえず西船場までの武蔵野線に乗って、舞浜に出てからまた考える。ほかの人もそう思っているじゃないかみんな武蔵野線に乗った。余計な話だけど、そのとき電車がぎゅうぎゅうになって中の人を押したり押されたりした。隣に立っていた男の人は前に立っていた彼女を守るために無言で必死に吊り輪をつかんで彼女に立つスペースを作ってあげた。私はすぐ隣にいるから、男の人が手が震えていて血管が浮かびなるほどのがんばっている姿がはっきり見えた。感動しちゃった。ものすごくやさしいひとだ。心から尊敬する。その感動を伝えたかった。みんなににもその感動を感じてほしかった。余計な話だけど…話が武蔵野線に戻る。武蔵野線にのつたけど、途中駅にずっと止まっていて、西船場までのたった三つの駅を通過に2時間すぎかかった！しかもたばなし。朝からその時点まで12時間以上立った。自分もえらい、よくがんばったなあとおもった。人間って限界はどこにあるのかな。待っているとき、みんなでこれからどうするのを真剣に考えた。「親に向かいに来てもらうのも無理だし、自分たちでタクシーでかえるのもそんなに金持ってないし、どうしたらいいのかな。電車はとりあえず西船場までいける。問題はそこからどうする。西船場で北朝霞方面の武蔵野線に乗り換えて、北朝霞まで行く。そしてふじみ野の近くに住んでいる友達にとまる。でもへたしたら西船場に着いても、もう終電に間に合わない。駅で寝るか。駅を出て24時間コンビニまたはマックへ行くか。または警察に捕まって、交番にいるか。ホテルを探してとまるか。」などなどいろいろ説が3人の口から出た。駅で寝るのは寒くて死んちゃうかもしれないし、ホテルは3人未成年だから、入れないかもとおもった。そうして2時間がしらないうちにすぎた。12時すぎ西船場についた。ラッキーなことに西船場からの終電も遅れた。ということは家に帰れないけど友達ん家に泊まれる。2時半ぐらい友達ん家についた。本当に疲れた。長い一日だった。3人一緒にいてほんとによかった。一人だったらそんなに冷静であわてず対応できなかっただろう。3人でいたからそんなに怖くなかったの。私一人だったらもう死んでしまうかも。家族のみんなにもたくさん迷惑をかけた。本当に申し訳ない。4人も無事に家に帰ったことは神に恵まれてることだとおもった。なかなか大変な思い出だったなあ。一生忘れられないでしょう。2010.3.20

これは日本語で投稿されたものです